

日本発ドイツ便り～ドイツのホテル

一度でも、私の企画なり、プロデュースした旅行に行ったことがある方なら、おそらく「うんうん。」と頷いてもらえると思いますが、私が旅行を企画する際には(自分のだろうが、人のだろうが)かなりこだわるところがいくつかあります。その一つが「ホテル」です。

ドイツには数限りなくホテルがあって、1 から 5 (最近では 6 もできました。)それ以外にもお城を改造したホテルやユースホステルやペンションなど、形態も色々です。ドイツのホテルはどこも清潔で、安全ですが、やっぱり 3 つ 以上のホテルに泊まることをお勧めしたいです。

日本からツアーで行くと、アメリカ資本の大型ホテルに宿泊とか、それに近いものがあると思います。実はこれには理由があって、日本人ツアー客はどこでも泊まれるか?というところではないのです。何が問題かというところ…。バスタブなんです。(それ以外の問題もありますが…)

ドイツのホテルでは、3 、4 では、シャワーのみ、というのが一般的です。これはもちろん現地の習慣に沿っているもので、ドイツの一般的な家庭でバスタブがない。というのは珍しくありません。(私の住んでいたケルンとフランクフルトのアパートにもシャワーしかなかったです。)バスタブがあったところで、日本のお湯をたっぷり入れて、ゆっくり浸かる。というのは「風邪をひいたとき」くらいのもので、普段はシャワーです。(日本では風邪をひいたときは「風呂に入るな」といわれるのとまったく反対なのは興味深いところですね。)

で、日本人の習性として、長旅の後は「とりあえず風呂」になるのですが、シャワーしかない。となると、添乗員さんに大クレームになるわけです。そんなこんなで、ツアーでは、必然的に「バスタブ付の部屋」の確約が取れるホテルのみ、になってしまうのです。

やっとこのへんから本題に入りますが、ドイツでこの数年間で、じわじわと拡大しているのが「デザインホテル」というカテゴリです。特にチェーン展開というわけではなく、小さなホテルも多いのですが、3 から 4 くらいで、ドイツ的、機能的なモダンなデザインのホテル。全室シャワーのみ、というのがほとんどのようなので、日本のツアーで使われることはほとんどないようです。一度泊ってみたかったのですが、今回初めて、ケルンで泊ってみました。



ホテルのロビーからしてこんな感じです。さりげなく置いてあるソファーとか、バーカウンターとか飾ってある写真とか結構好みでした。フロントの人の制服もおしゃれでした。

「ケルンは初めてですか？」と聞かれたので「実は前住んどってん。」(このへんケルン弁で)という「なんや、ケルン人かいなあ」(もちろん大阪弁じゃなくて、ケルン弁)と急に事務的な態度が「おかえりー」ってな感じになったのが面白かったです。チェックイン時間より大幅に前でしたが、「ええ部屋用意させるから、ちょっと待っとり」(しつこいようですが、大阪弁じゃないですよ。)と、見た目はスーツ着たパンクだけど、優しいおねえさんでした。

ちなみにこのホテル、私が3ヶ月ばかり通っていたドイツ語学校からもそう遠くない場所で、中央駅からも徒歩数分のなかなか便利な場所でした。その後、近くに住む友達が迎えにきてくれたのですが、ホテルだと思ってなかったらしく、一回素通りしてしまったとか…。そんなさりげないホテルでした。



廊下もなかなか個性的。床に光っているところに、部屋番号が書いてあります。
廊下の色が黒なのと、照明も落とし目なので、この部屋番号が効果的！



お部屋の様子。ドイツのホテルには、気持ち良い上質の羽根布団は必須！夏も冬も羽根布団 1 枚なんですよ。



なかなか気に入ってしまった広～いバスルーム。床がタイルとかではなく、土をイメージさせるコンクリート(?)なかなか新鮮でした。



洗面台アップ。このまま一式もって帰りたかったです。

その他、お部屋の照明なんかもおしゃれで、朝食も充実。なかなか快適なホテルでした。こういうホテルを見つけるとうれしくなりますね。おそらくここは、デザインホテルの中では、シックな部類でしょう。ドイツ内にたくさんあるデザインホテルには、もっと前衛的なもの、ポップなもの、と、ひとつひとつが個性的です。ほかの街にも、気になっているデザインホテルがいくつかあるので、またそのうちに…。

ところで、よく勘違いしがちなのが、**星の数**が多ければ多いほど、よいホテル。か、ということです。間違いではないのですが、ホテルの**星の数**は、満たしている条件がいくつあるか、で決まります。5 になろうと思うと、たとえば、エレベーターがある、部屋でインターネットが使える、フロントが 24 時間対応できる、スイートルームがあるか、とか、朝食用以外のレストランがある。とか、そういう細かい条件がクリアできているかどうか、で決まります。

もちろん、**星の数**は、設備やサービスの目安にはなりますが、「よい・わるい」の絶対的な評価ではありません。(3 や 4 でもこじんまりしていて、清潔で、とても居心地が良いホテルなんがたくさんありますよ！)

あと、高級ホテルには、お金を出せば、もちろん泊られますが、大原則があります。

そのホテルに相応しい、格好や振る舞いが要求されるということ。(こういうホテルには、チェックインの際には、なるべくきちんとした服装で行きましょう。しっかり磨いた靴もお忘れなく！やっぱりヨーロッパはまだまだ階層社会です。日本的な「一点豪華主義」なんて考え方は理解されません。あとは、ホテルの格によって、チップの相場も変化しますよ。)

「高級ホテル」を本当に体験したければ、そのホテルで値段が一番安いカテゴリの部屋は取らないこと！(高級ホテルほど、部屋の階層があります。値段の一番安いカテゴリの部屋に泊まるくらいなら、4 ホテルの方がお勧めです。「あの憧れの**星の数**に泊まる」ツアーで泊まるのは、残念ながら、このカテゴリの部屋であることが多いです…。)

以上 2 点を頭に入れておけば、高級ホテルも怖いものなし！かな(?)

いろんなところに、こだわりの、自分だけの旅に出かけてみませんか？

以上、ホテル、いろいろでした。